

EXTR Δ 332F

取扱説明書

はじめに

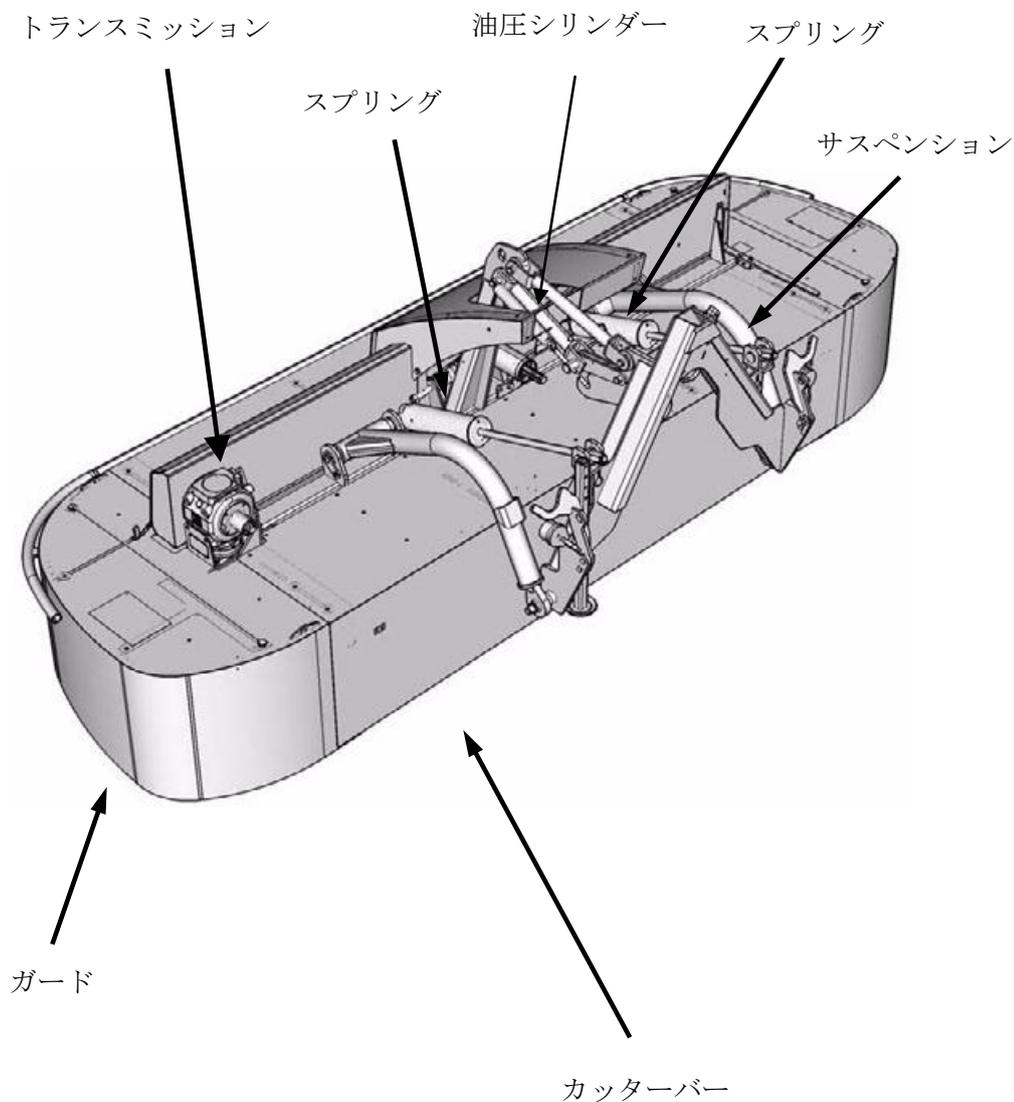
本書はフロントディスクモア **EX332F** の取扱説明書になります。

本書に記載されている注意に従って安全を確保して作業を行なってください

- ・オペレーター自身の安全のために
- ・周囲の人/物の安全のために
- ・機械の安全性確保のために

本機を誤って使用すると、様々な危険をもたらすおそれがあります。常に慎重に作業してください。

概要



型式	カッターバーのオイル量
332F	4.1L

	ミッションオイル量
EX332F	約1.0L

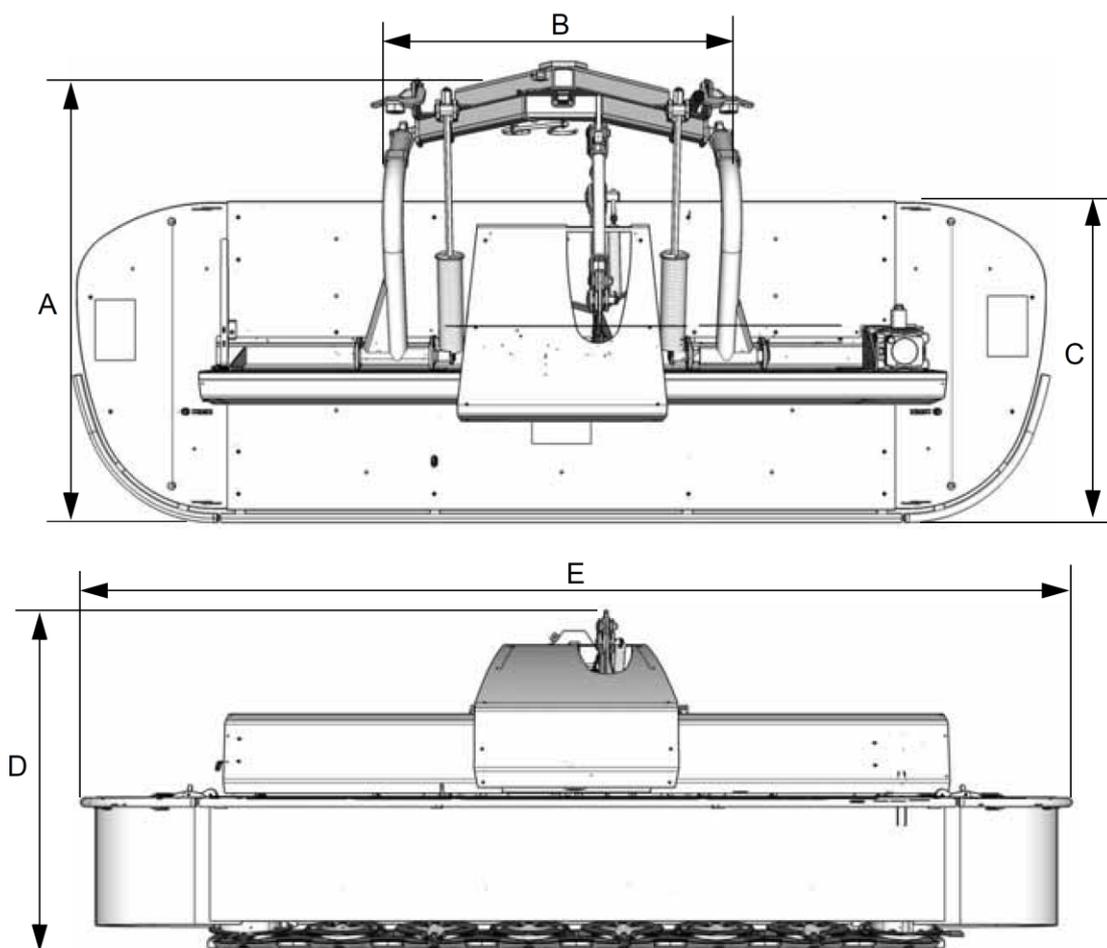
オイル型番：80W-90

オイル型番：80W-90

グリス規格：EP2

作業機データ

寸法

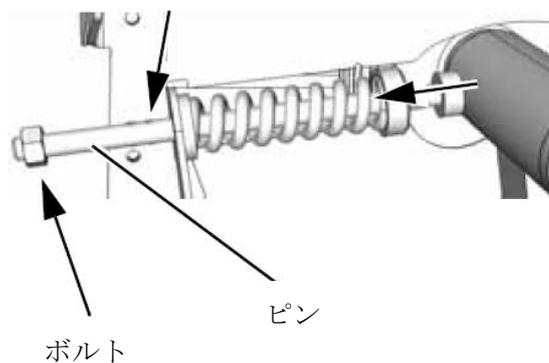


寸法	単位	332F
A	mm	1600
B	mm	1400
C	mm	1260
D	mm	1410
E	mm	3970

概要

	単位	332F
重量	Kg	691
PTO	rpm	750/1000
所要馬力	kW/HK	40/55
カッティングディスク数	枚	8
ナイフ数	枚	24
カッティングディスク回転数	rpm	3000
刈り高さ	mm	20-100
油圧流量	l/min	15-50
油圧	bar	90 - 200
作業幅	m	3.2
作業速度	km/h	8 - 15
騒音レベル	dB	85
クリアランス高さ	cm	35
移動幅	m	3.0

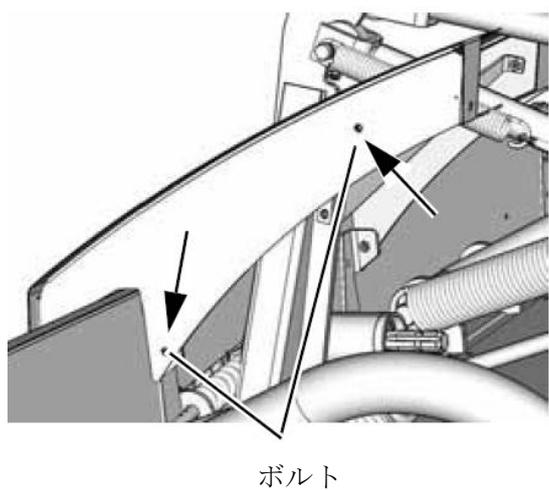
入力 PTO 回転数の変更



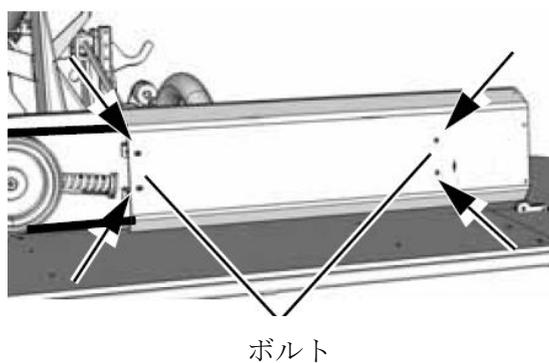
本機はトラクターの PTO 回転数が 750 もしくは 1000 回転で使用できます。
工場出荷時は 1000 回転に設定されています。

750 回転の設定方法：

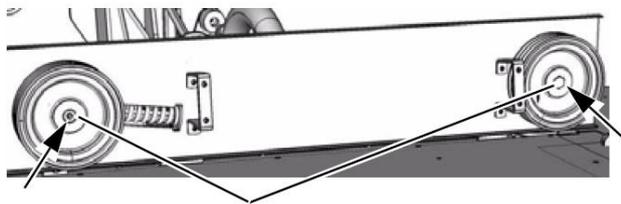
- > ピンを外してます。
- > ボルトを回し、V ベルトを緩くします。



- > ガード両端のボルトを外します。
- > ガードを外します。

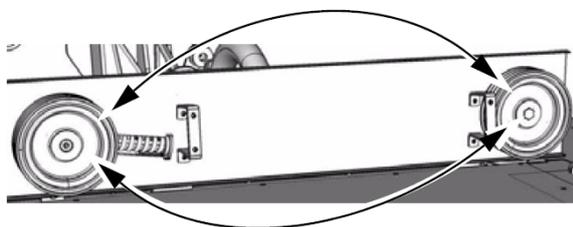


- > ガードのボルトを外します。

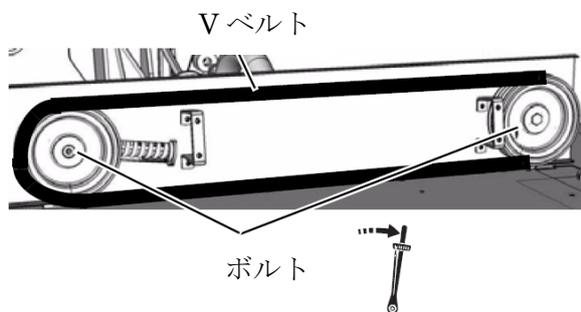


Vベルトの取り外し

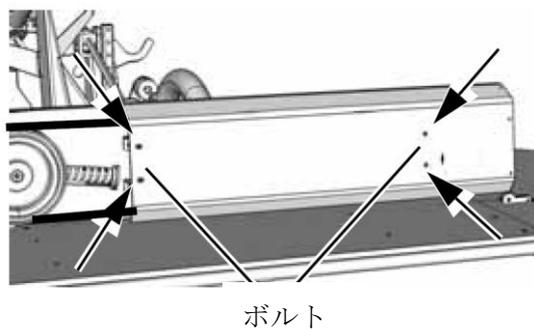
>両側のプーリーのボルトを外し、プーリーを外して下さい



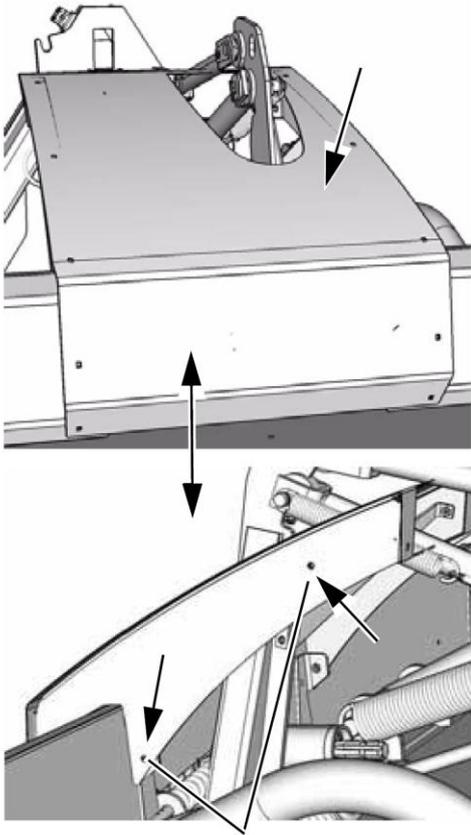
>左右のプーリーを交換して下さい。
交換することによって入力回転数を変えることができます



>Vベルトを取り付けてください。
その後プーリーのボルトを締めて下さい



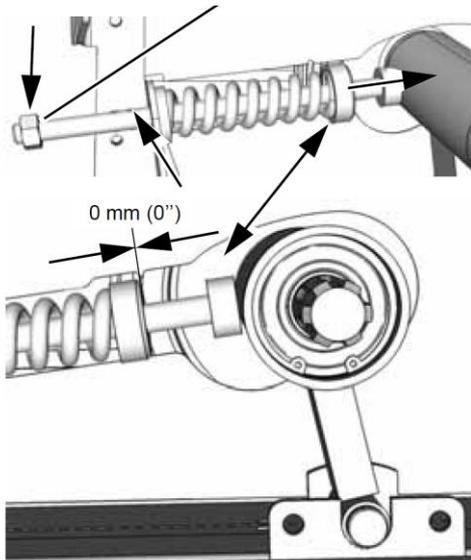
>ガードを取り付けます。



>ガードを取り付けます。

ボルト

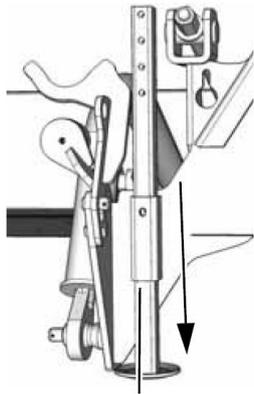
ボルト



>左図の示す位置に合うように調節してください。

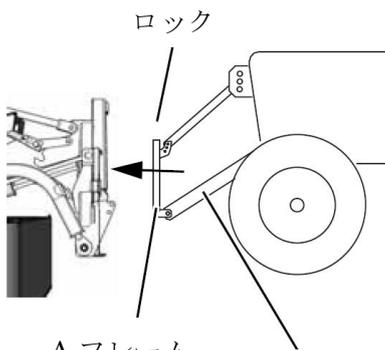
作業機の取付

初期設定



サポートレッグ

> 作業機の両側のサポートレッグを完全に下げます。



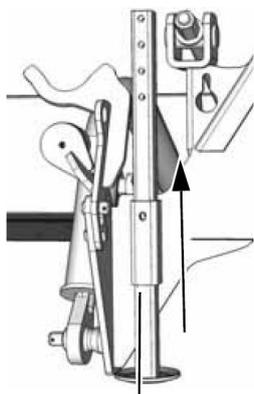
ロック

> トラクターのフロントリンケージにAフレームを取り付け、作業機にに向かって前進します。

> Aフレームを上げて、作業機をロックします。

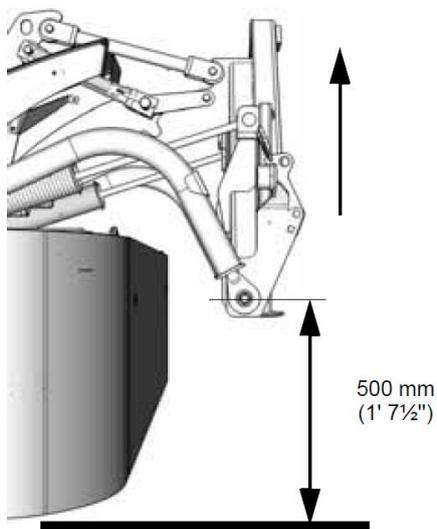
注意！ Aフレームがしっかりロックされたことを確認してください。

Aフレーム
フロントリンケージ

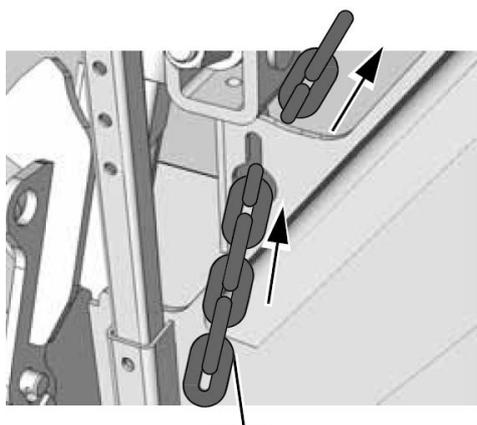


サポートレッグ

> 作業機装着後、両側のサポートレッグを最高位置まで上げてください。

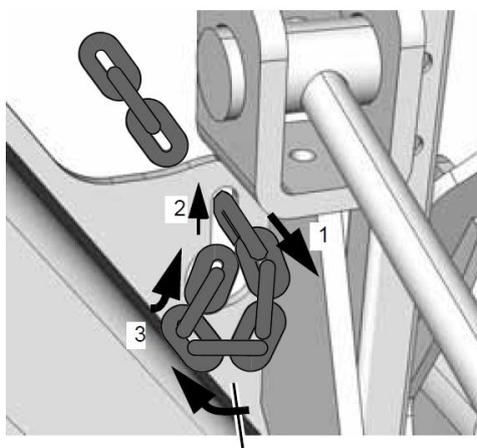


>トラクターのロアリンクを上げ、図のように作業機を500mmの高さまで上げます。



>図のようにチェーンを穴に通します。

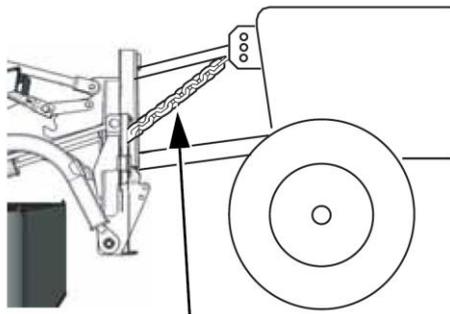
チェーン



- >チェーンを張ります。[1]
- >チェーンを上げて、ロックします。[2]
- >再びチェーンの端を穴に通して、チェーンを張ります[3]

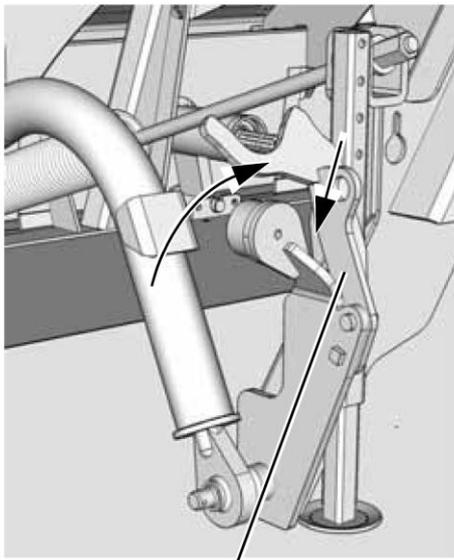
チェーンをロックすることで作業機を固定できます。
チェーンは両側にあります

チェーン



チェーン

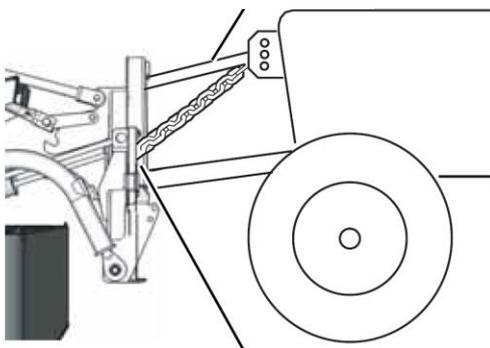
>チェーンが張ったところでフロントリンケージの高さを固定してください



サポートレッグ

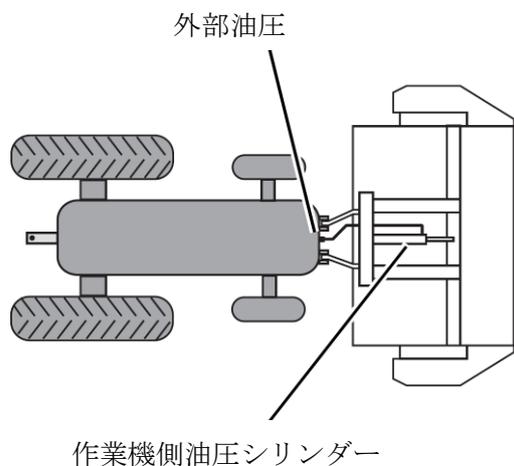
>ヒッチの両側のサポートレッグは図のように解除してください。

トップリンク



A フレーム

>トラクターのフロントリンケージのAフレームが垂直になるようにトップリンクを調整してください。



フロントリンケージ付きのトラクターで、トラクターの前部に外部油圧取出がある場合、作業機は以下のように油圧接続が可能です。

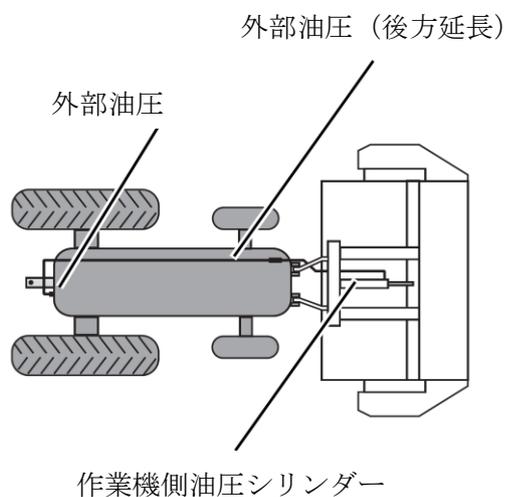
- > 図のようにトラクターと油圧接続してください。
 - ・トラクターのフロントリンケージの単動油圧口を使って作業機の油圧を操作してください。

注意！ トラクター前部の外部油圧取出はフロート位置にセットしてください。この位置にセットできない場合は以下のように調整してください。

- > トラクターの外部油圧で、作業機をめいいっぱい下げてください。
 - > トラクターの油圧バルブを数秒間開いたままにしてください。
- 作業機の油圧シリンダーがロックされていないようにするためです

注意！ トラクターのフロントリンケージが復動油圧の場合、油圧を固定し、トラクターのフロントリンケージが作業機の重量で地面に下げることができるようにしてください。そうでない場合、作業機が損傷する恐れがあります。

注意！ いかなる場合でも作業機に大きく外部からの力がかからないようにして下さい。



フロントリンケージ装着のトラクターでフロントに油圧取り出しがない場合、作業機は以下のように油圧接続が可能です。

図のように後方から延長ホースを使用して油圧接続を行なって下さい。

注意！ トラクター前部の油圧口はフロート位置にセットしてください。この位置にセットできない場合は以下のように調整してください。

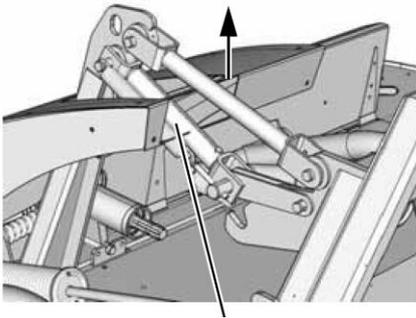
>トラクターの外部油圧で、作業機をめいっばい下げて下さい。

>トラクターの油圧バルブを数秒間開いたままにしてください。

作業機の油圧シリンダーがロックされていないようにするためです

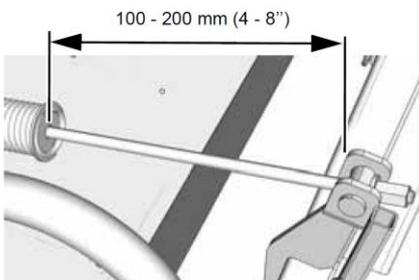
注意！ トラクターのフロントリンケージが復動油圧の場合、油圧を固定し、トラクターのフロントリンケージが作業機の重量で地面に下げることができるようにしてください。そうでない場合、作業機が損傷する恐れがあります。

注意！ いかなる場合でも作業機に大きく外部からの力がかからないようにして下さい。

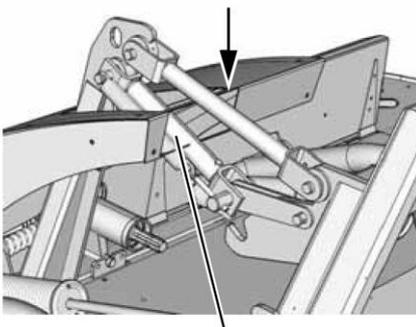


油圧シリンダー

>作業機を油圧シリンダーで上げてください。

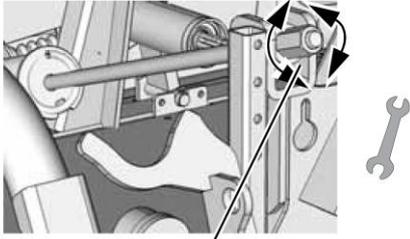


>スプリングを図の寸法に従って締めてください。
(100-200mm)



油圧シリンダー

>作業機を油圧シリンダーで地面に下げてください。



ボルト

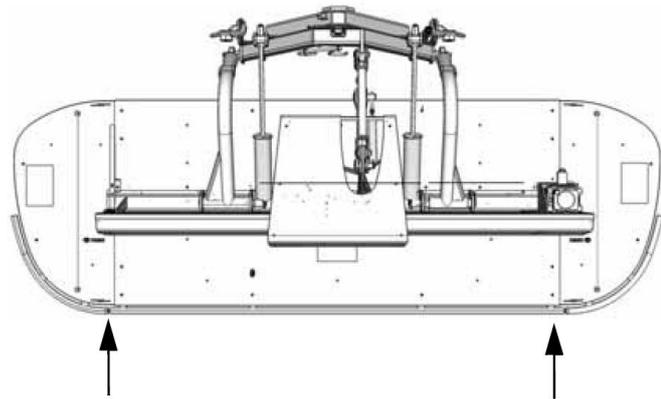
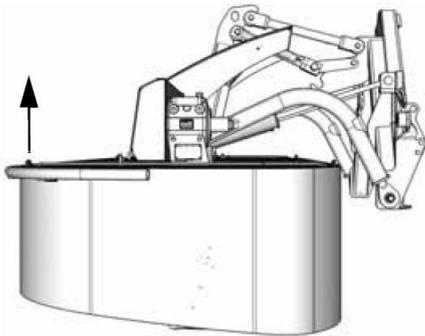
接地圧：約 40-60 k g

作業機のCutting装置のサスペンションは、Cutting装置の接地圧が約40～60kgになるように以下の手順で調整してください。

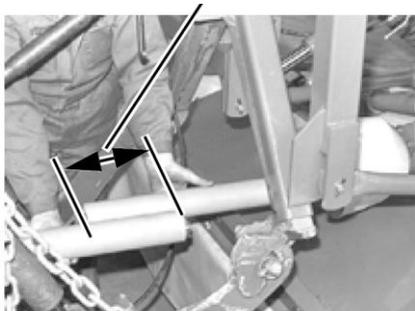
- ー 適切な道具を使用してボルトを締めてください。
- ・ ボルトを時計回りに回すと、Cutting装置の接地圧は小さくなります。
- ・ ボルトを反時計回りに回すと、Cutting装置の接地圧は大きくなります。
- ー 両側のスプリングで接地圧を調整してください。
- ー 持ち上げるようにしてCutting装置の両側を上げて確認してください。

重要！ サスペンションのチェック

重要！ 左側と右側を手で上げた時に、Cutting装置の両側の接地圧が約40～60kgになるように調整してください



最低 200mm



>PTOシャフトを取り付ける場合は、PTO シャフトの両側が図のように、少なくとも200mm重なり合っていることを確認してください。

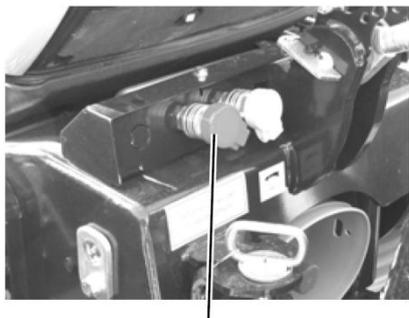
>作業機が上がった位置でも、PTOシャフトの長さを確認してください。

警告！ 最大高、最低高のどちらの場合も確認して下さい！

注意！ PTOシャフトの長さを変更する場合は、PTOシャフトメーカーの説明書を参照してください。

接 続

油圧接続



油圧バルブ

トラクターの油圧取り出しは単動1系統必要になります

油圧制御バルブの機能

機能	バルブ
カッティング装置の上昇/下降	単動

試運転

作業機を初めてトラクターに連結した場合は、必ず試運転を行ってください。

安全に関する指示に従い、自分自身と周りの安全を確保して下さい。これを怠ると大きな怪我や事故を引き起こす危険性があります。

作業機の試運転&始動

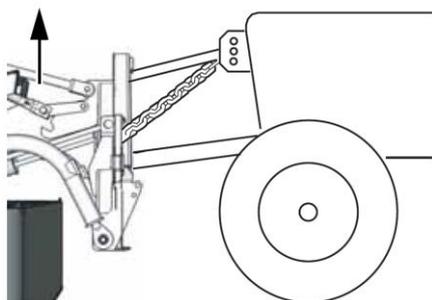
- >PTOシャフトは安全に気をつけて接続して下さい。
- >PTOの回転数を1000rpmまで徐々に上げて下さい。
- >作業機が異音、過度な振動をせず、スムーズに作動することを確認して下さい。
- >確認後PTOの回転数をゆっくり落とし、回転を止めて下さい。
- >作業機の油圧機能を作動させてください。
(作業機の昇降)
- >トラクターの油圧システムを停止して下さい。

警告！ 接続をする際は必ずトラクターのエンジンを停止させて、安全を確保して下さい

作業機の輸送位置



PTOシャフトに角度が付き過ぎると、トラクターや作業機、PTOシャフトを破損する恐れがあります。



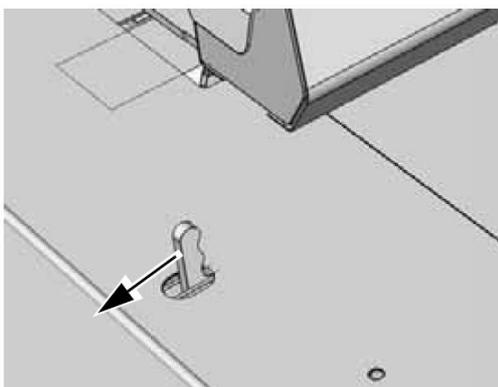
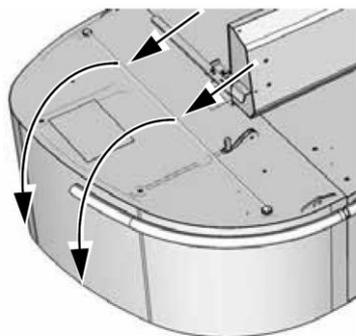
作業機は以下の方法で、輸送位置に移動させます。

>作業機の油圧安全弁が開いていることを確認してください。

>油圧を使用して、作業機を完全に上げます。

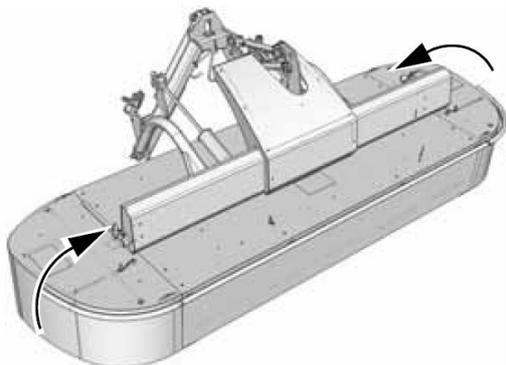
>その後作業機の油圧安全バルブを閉じて下さい。

>カバーのバタつき防止コードを下げます



>図のようにレバーを引いて、ガードのロックを解除します。

>両端のガードを上げます。



作業位置

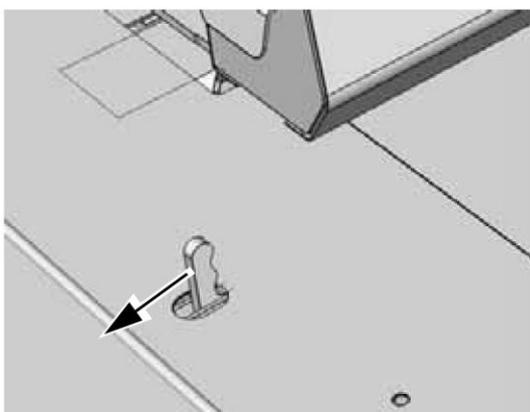


周囲の確認

フロントディスクモアの走行、使用する前には周囲に人や動物がいないか確認し、それらに危害が及ぶことを防止してください。

警告！ 作業機周辺に動物や人間がいないことを必ず確認して下さい。重大な事故に繋がる恐れがあります
作業中は絶対に近くに寄らないで下さい！

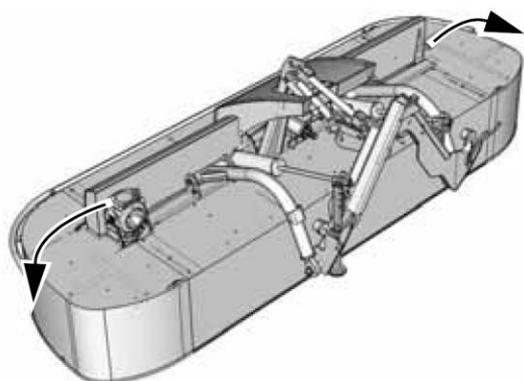
作業位置



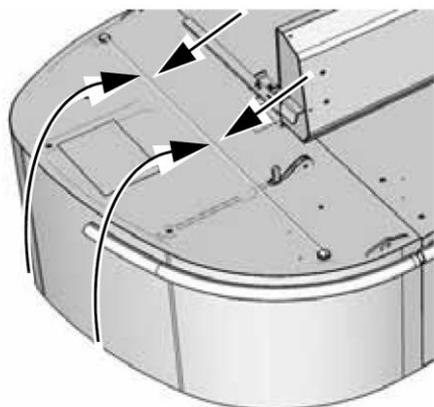
以下の方法で作業機を作業位置にします

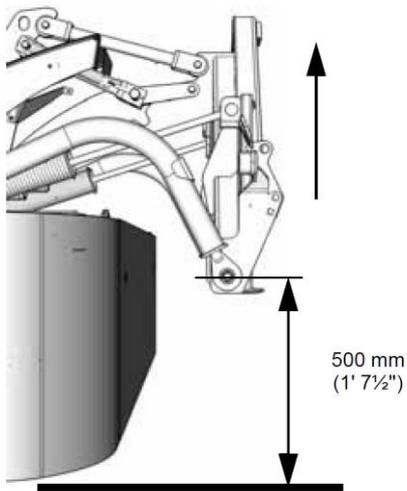
>周囲を必ず確認します

>図のようにロックを外してカッターバーのガードを下ろします



>カバーのバタつき防止コードを解除します

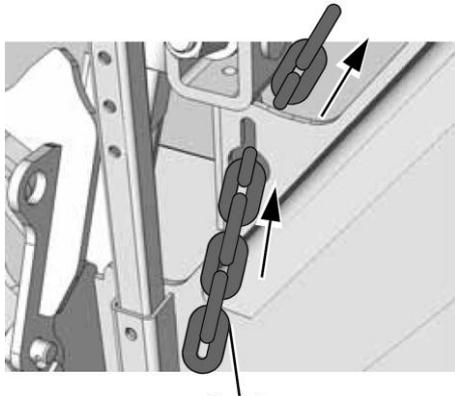




>トラクターのフロントリンケージを調整し地面から500mmの高さになるようにして下さい。

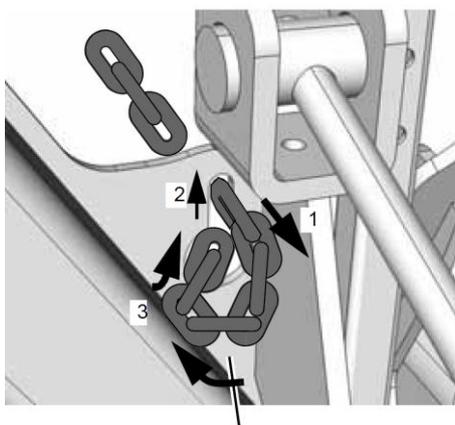
注意！ 上げ下げして調節するときは、PTO シャフトに注意して下さい。角度をつけすぎると破損する恐れがあります。

← 図の位置から地面まで 500mm



作業機を固定するため、図のようにチェーンを通します

チェーン



>チェーンを引っ張ります。[1]

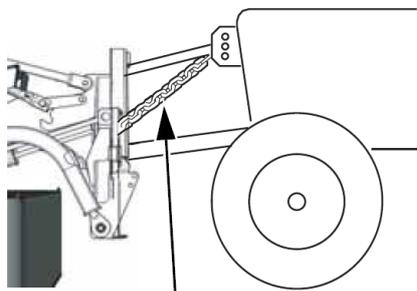
>チェーンを上げて、ロックします。[2]

>再びチェーンの端を通して、チェーンを張り、ロックをします[3]

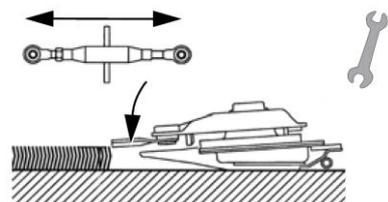
チェーンをロックすることで作業機を固定することができます。

固定用のチェーンは両側にあります。

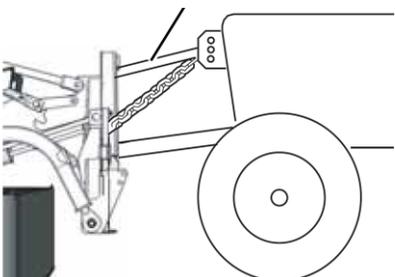
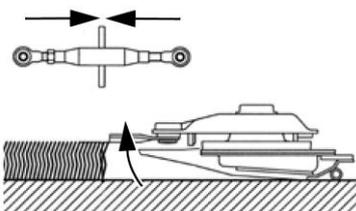
チェーン



チェーン



トップリンク



チェーンの固定方法に従って作業機の固定を行なって下さい

>作業機のガードが全て正しい位置にあり破損等がないことを確認してください。

注意！ トラクターのフロントリンケージが復動油圧の場合、油圧を固定し、トラクターのフロントリンケージが作業機の重量で地面に下げることができるようにしてください。そうでない場合、作業機が損傷する恐れがあります。

注意！ いかなる場合でも作業機に大きく外部からの力がかからないようにして下さい。

刈り高さの調整方法

- ・ トップリンクを短くすると、刈り高さが高くなります。
- ・ トップリンクを長くすると、刈り高さが低くなります。

オプションハイスキッド装着で下記の刈り高さの設定が可能です。

刈り高さ	使用するスキッド
20-50mm	使用なし
25-70mm	20mm スキッド
50-100mm	40mm スキッド
100mm 以上	80mm スキッド

作業機の始動

- >安全に注意してPTOシャフトを接続して下さい。
 - >PTOの回転数を1000rpmまで徐々に上げて下さい。
 - >油圧を操作して作業機を昇降させて下さい。
- >適切な作業速度で作業を行なって下さい。

注意！ 作業機が動かない場合

- >直ちに作業を停止して下さい。
- >速度を落とし、停止します。
- >PTO回転を止めます。
- >エンジンを停止させます

注意！ 騒音や振動が激しい場合も同様に作業を停止して下さい。

枕地での方向転換



圃場の枕地での方向転換の操作

作業機を作業位置から上げて下さい

- >圃場の枕地で方向転換して下さい。
- >作業機を作業位置まで下げて下さい。

油圧



油圧ホースの取り外し

油圧ホースをトラクターから取り外す場合は、トラクター、作業機が完全に停止していることを確認してください。

従わない場合、大きな事故に繋がる場合があります

>必ずトラクターと作業機両方の油圧システムから圧を抜いてください。

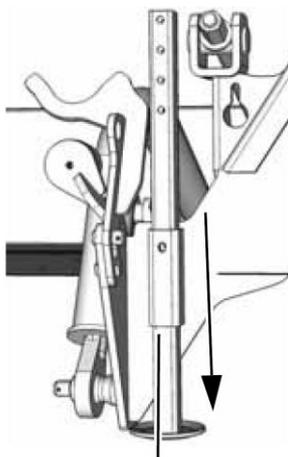
オイルの取り扱い

オイルには添加剤が含まれており、健康に大きな障害をもたらす危険性があります。

オイルを扱う場合は以下の点に注意してください。

- ・油圧オイルに直接触らないでください。皮膚に障害をもたらす危険性があります。
- ・保護クリームや保護手袋で皮膚を保護してください。
- ・決してオイルや潤滑油で手を洗わないでください。
- ・オイルで汚れた服は、すぐに着替えてください。
- ・オイルで汚れた布をポケットに入れしないでください。
- ・オイルに触れてしまった場合は、良く洗い、異常があるようだったらすぐに医者診察を受けてください。

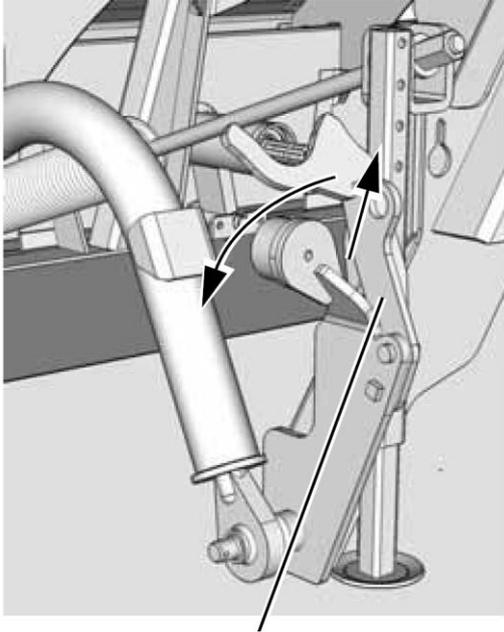
作業機の取り外し



サポートレッグ

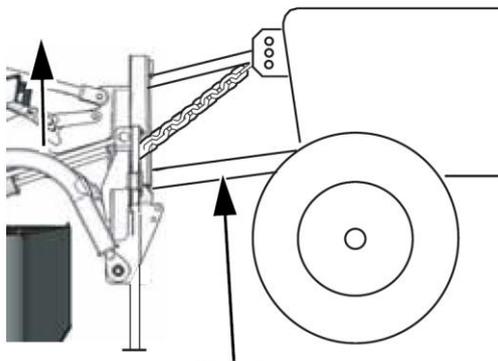
作業機の取り外し方法

>作業機の両側のサポートレッグを完全に下げ、図のように固定してください。



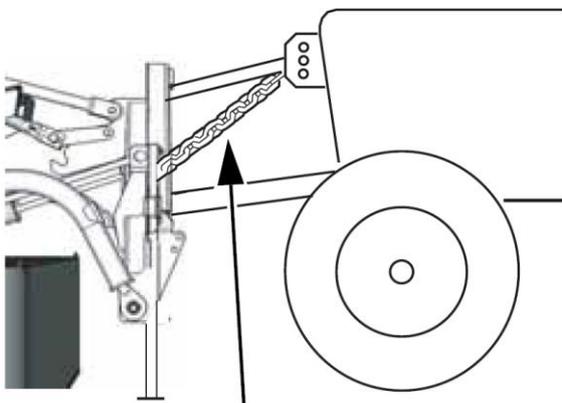
サポートレッグ

図のようにサポートレッグを取り外し位置
にしてください
※両側にあります



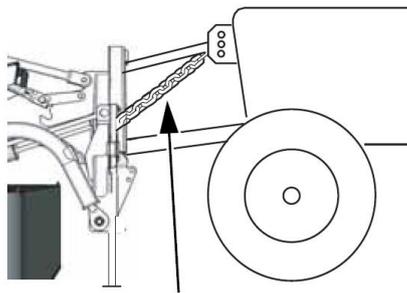
フロントリンケージ

トラクターのフロントリンケージを最大高さまで
上げます



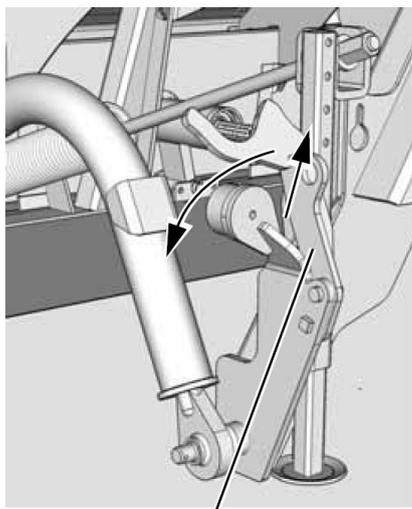
チェーン

図の位置のチェーンが緩んでいることを確認し、
作業機の油圧シリンダーの安全装置を閉じます。



チェーン

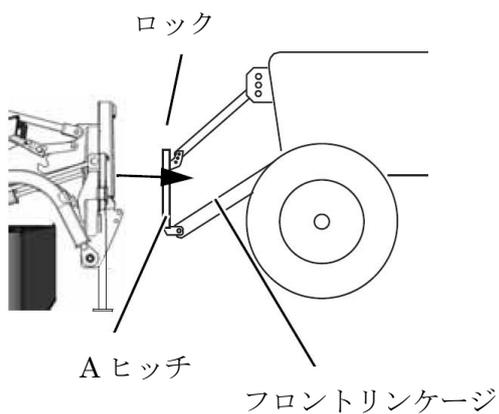
フロントリンケージからチェーンを取り外します
注意！ 必ず水平で安全な場所で行なって下さい！



サポートレッグ

サポートレッグが両側共に正しい位置に来ており、ロックがかかっていることを確認します。
 作業機との油圧接続を外します。
 トラクターから PTO シャフトを取り外します

注意！ トラクターのエンジンは絶対に切ってから取り外し作業を行なってください。



図の位置のロックを外します。
 トラクターのフロントリンケージを下げ、A ヒッチを作業機から取り外します。

メンテナンスの間隔

		10時間毎	毎日	40時間毎	80時間毎	もしくは1シーズン 200時間毎	毎月	毎シーズン	必要に応じて	オイル交換	注油	確認	交換
メンテナンス	油圧ホース、4年毎											●	●
	ベアリング/ユニバーサルジョイント		●								●		
	カッティングディスク、初動1時間											●	
	カッティングディスク		●									●	
	ナイフ		●						●			●	●
	コーン		●					●				●	
	ストーンガードとカウンターナイフ			●						●		●	●
注油	PTOシャフト		●								●	●	
	軸とスプリング								●		●		
駆動系	ベベルギア	●			●					●		●	
	ユニバーサルジョイント						●					●	●
	カッターバー	●	●			●				●		●	
	Vベルト	●		●								●	●
										●			●

型式	カッターバーのオイル量
332F	4.1L

	ミッションオイル量
EX332F	約1.0L

オイル規格：80W-90

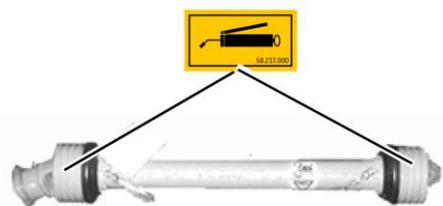
オイル規格：80W-90

グリス規格：EP2

メンテナンス

潤滑

毎日
PTO シャフト



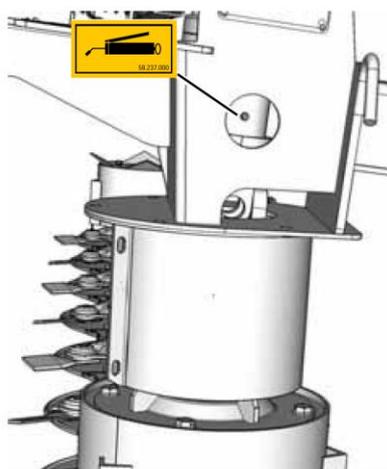
カバーの穴から、グリースニップルが見えるようになるまでPTOシャフトを回してください。

グリースガンのノズルをグリースニップルに差し込み1、2回注油してください。

毎日確認してください

グリス規格：EP2

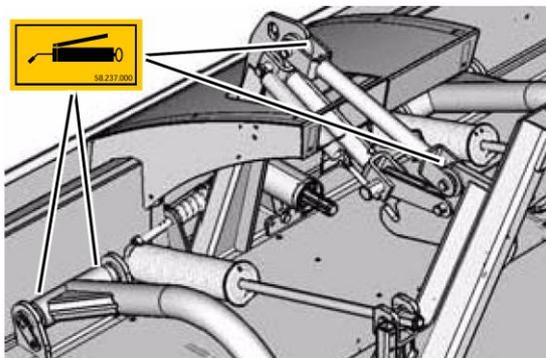
40 時間毎
カッティングユニット



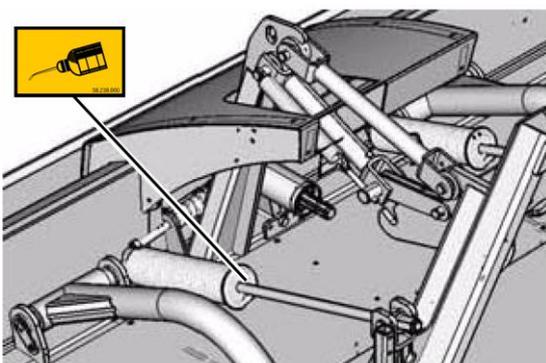
グリースガンのノズルをグリースニップルに差し込み1、2回注油してください

毎日確認してください

必要に応じて



グリースガンのノズルをグリースニップルに差し込み1、2回注油してください。適時確認してください



グリースガンのノズルをグリースニップルに差し込み1、2回注油してください。適時確認してください

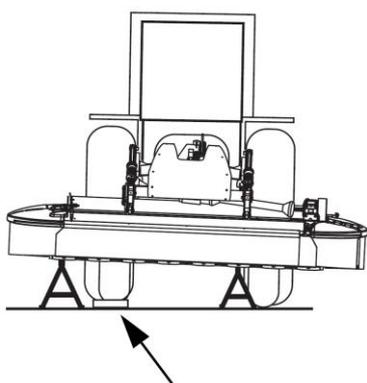
200 時間使用毎もしくは1 シーズン

カッターバーのオイル交換

カッターバーのオイル交換

重要! フロントディスクモアはトラクターに装着した状態で行なってください

▶水平かつ安全な場所でオイル交換を行なってください。

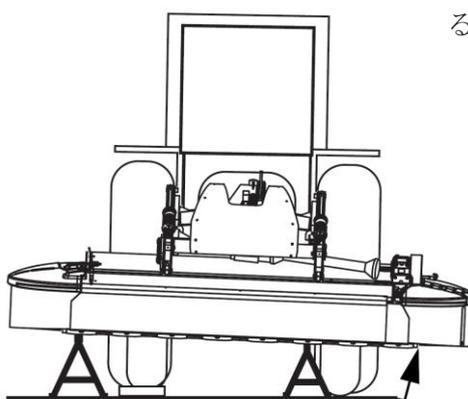


トラクターフロントリンケージを動作させ、作業機を地面から完全に上げてください。

注意! トラクターのフロントリンケージと作業機はチェーンで固定してください。

オイル交換を始める前に、作業機を頑丈なサポートで支えることが必要です。必ず支えてください!

トラクターの右車輪は木片を置く、サポートの高さを変えるなどして、作業機が少し左に傾くようにしてください。



注意! オイル交換を始める前に、作業機を頑丈なサポートで支えることが必要です。必ず支えてください!

オイルの抜き方

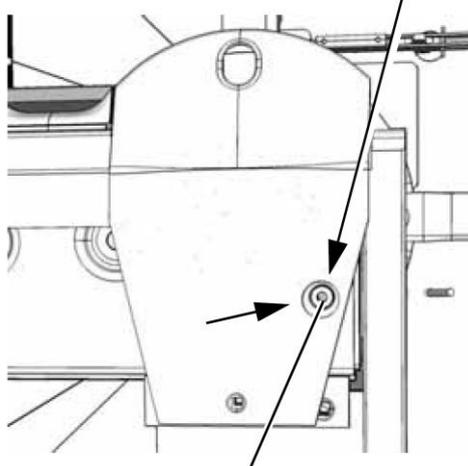
排出プラグを探してください。

適切な工具を使用して排出プラグを取り外してください。

オイルが流れ出ますので、適切な容器に集めてください。

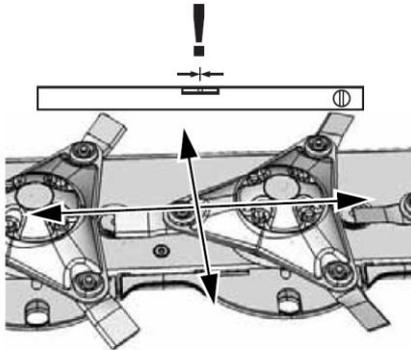
カッターバーから完全にオイルが排出されるまで約10~15分間そのままにしておいてください。

カッターバーにオイルプラグを取り付け締めてください。



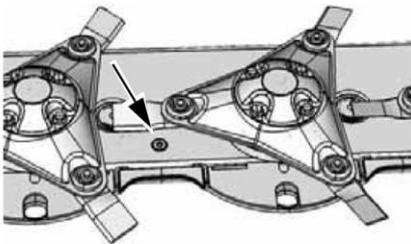
オイルプラグ

注油方法



作業機を取り外し、水平な場所に接地してください。

必要があれば角材等を挟んで水平にしてください。

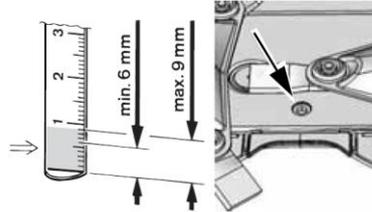


カッターバー上部のオイルプラグを取り外します

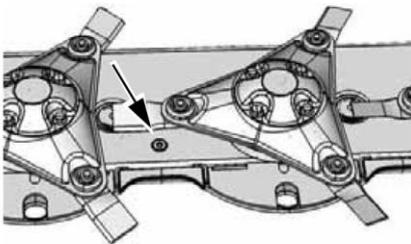
オイルゲージを見つつ、適切なオイル量になるように注油してください。

ゲージ：最低 6mm 最高 9mm

カッターバーのオイル量は 4.1L になります



オイルプラグを取り付け、適切に締めてください。



型式	カッターバーのオイル量
332F	4.1L

トランスミッション



オイル交換の際の注意点

オイルを交換する際は保護クリームや保護手袋を使用してケガを防止してください。

直接オイルに触れると、皮膚に大きな障害を引き起こす可能性があります。

正しい種類のオイルを使用

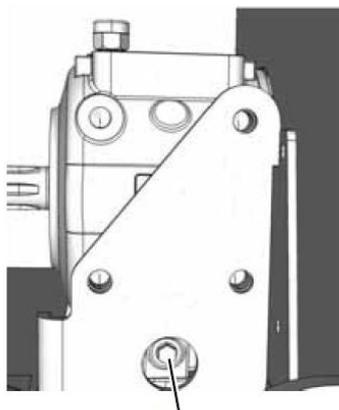
常にトランスミッション用の正しい種類のオイルを使用してください。これによってトランスミッションを長持ちさせることができます。

不適切なオイルを使用すると、トランスミッションが損傷する可能性があります。

正しいオイルレベルを保つ

トランスミッションのオイルレベルのMax. とMin. の印を超えないようにしてください。正しいオイルレベルによってトランスミッションが長持ちします。オイルレベルが不適切な場合、トランスミッションが熱くなり大きな損傷を引き起こす可能性があります。

ベベルギア オイル交換



オイルプラグ 3

オイルの交換

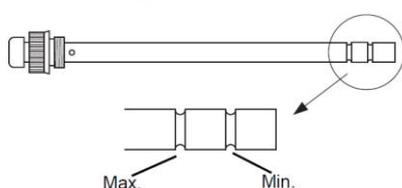
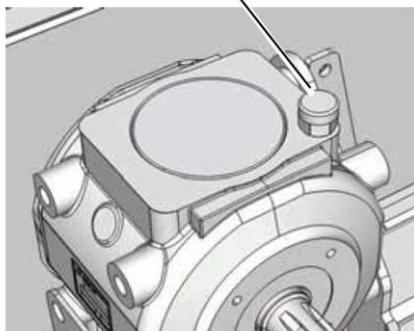
適切な道具でオイルプラグ3 を取り外してください。
流れ出るオイルを適切な容器に集めてください。

トランスミッションから完全にオイルが排出されるまで約10～15分間そのままにしておいてください。
オイルプラグ3 を取り付け、締めてください。

	ミッションオイル量
EX332F	約1.0L

オイル型番：80W-90

オイルプラグ (ゲージ)



オイルゲージを取り外します。

オイルゲージ穴にオイルを注ぎます。

トランスミッションにオイルゲージを取り付け、もう一度オイルゲージを外します。

オイルレベルがオイルゲージ上の「max」表示までであることを確認してください。

正確なオイルレベルに達するまで、上記の手順を繰り返してください。

オイルゲージを取り付け、締めてください。

10時間使用毎：オイル交換

	ミッションオイル量
EX332F	約1.0L

オイル型番：80W-90

ナイフの交換

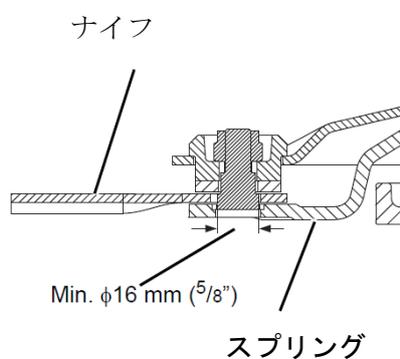
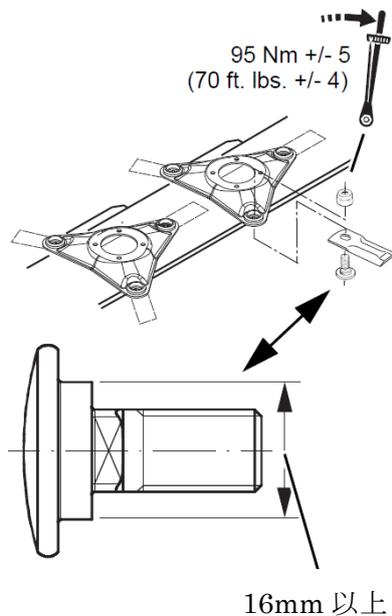


カッターバーのメンテナンス作業の注意事項

カッターバーのメンテナンス作業を行う場合は、トラクターを停止して固定してください。これによって作業機が突然動き出さないようにします。

トラクターとPTOシャフトが規定通りに接続されていない場合、大きな事故を引き起こし手足に重傷を負う危険性があります。

必要に応じて



カッターバーのメンテナンス作業

- ・トラクターのエンジンを切ってください。
- ・イグニッションキーを外してください。
- ・PTOシャフトを取り外してください。
- ・トラクターの油圧システムを停止してください。
- ・手動ブレーキをかけてください。

ナイフの定期的な点検

ナイフは定期的に点検してください。

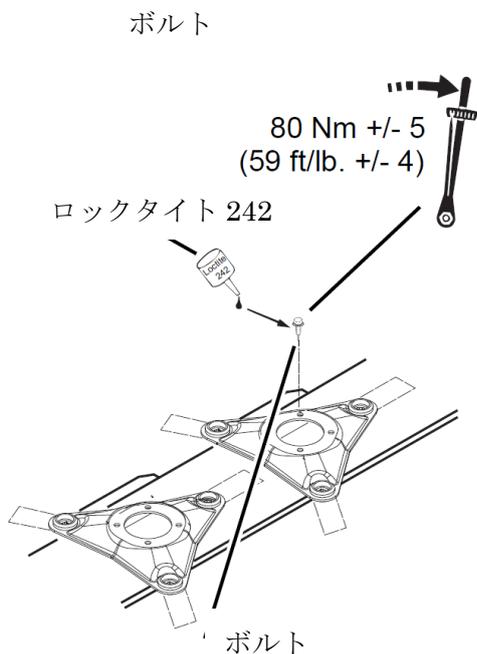
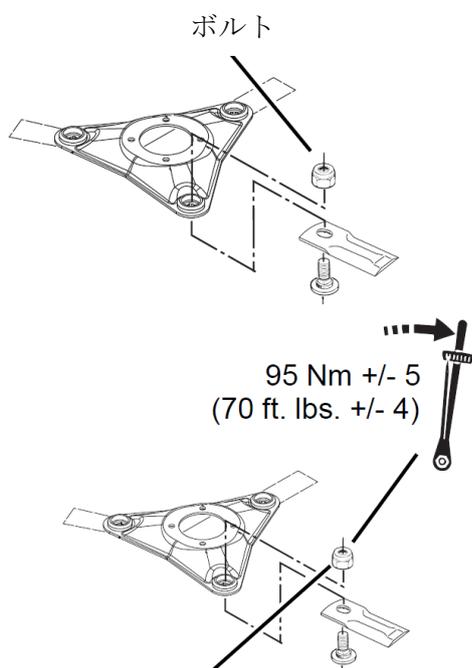
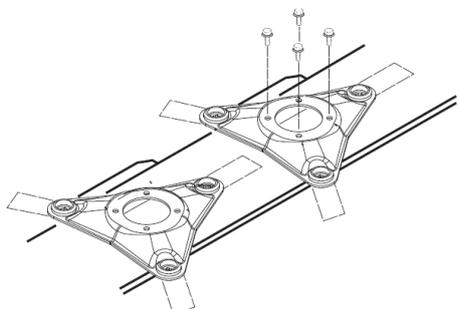
ナイフの激しい磨耗や破損によって回転部分が不均衡になります。

また、振動によって作業機自体が損傷する可能性があります。

ナイフの交換方法：

- >カッターバーのガードを上げます
 - >損傷、磨耗のあるナイフを探します、見つけた場合は適切な工具を使用してボルトを取り外します
 - >ナイフを取り外します
 - >ナイフの交換、清掃、ボルトの清掃を行なってください
 - >もし損傷や磨耗があった場合は即交換してください
- 注意!** ボルトの根元の直径が 16mm 以下になったら交換してください。
- >ナイフ、ボルトを取り付けてください
 - >適切なトルクで締めてください**(95Nm)**

カッティングディスク 必要に応じて



カッティングディスクのメンテナンス作業の注意事項

カッティングディスクのメンテナンス作業を行う場合は、トラクターを停止して固定してください。これによって作業機が突然動き出さないようにします。

トラクターとPTOシャフトが規定通りに接続されていない場合、大きな事故を引き起こし手足に重傷を負う危険性があります。

カッターバーのメンテナンス作業

- ・トラクターのエンジンを切ってください。
- ・イグニッションキーを外してください。
- ・PTOシャフトを取り外してください。
- ・トラクターの油圧システムを停止してください。
- ・手動ブレーキをかけてください。

カッティングディスクの交換、メンテナンス方法

>カッターバーのガードを上げます
>適切な工具を使用してカッティングディスクを取り外します

>ナイフとボルトを取り外します

>交換の場合は新しいナイフとボルトを取り付けます

適切トルク (95Nm)

>カッティングディスクを取り付ける際は、ロックタイト 242 を塗ってください

>カッターバーにディスクを取り付けます

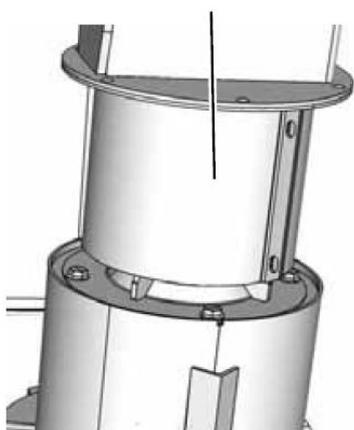
>適切なトルクでボルトを締めます (80Nm)

>カッターバーのガードを下げます

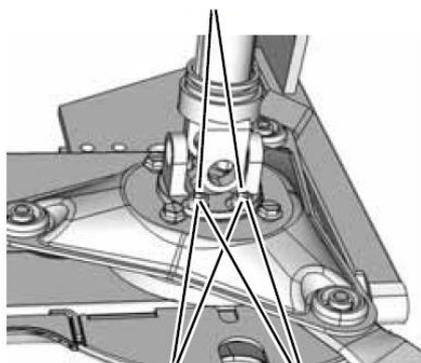
ユニバーサルジョイント 必要に応じて

ユニバーサルジョイントのメンテナンス作業の注意事項
ユニバーサルジョイントのメンテナンス作業を行う場合は、トラクターを停止して固定してください。これによって作業機が突然動き出さないようにします。
トラクターとPTOシャフトが規定通りに接続されていない場合、大きな事故を引き起こし手足に重傷を負う危険性があります。

ガード



ボルト



79 Nm
(58 ft/lb.)

ロックタイト 242

ユニバーサルジョイントのメンテナンス作業

- ・トラクターのエンジンを切ってください。
- ・イグニッションキーを外してください。
- ・PTOシャフトを取り外してください。
- ・トラクターの油圧システムを停止してください。
- ・手動ブレーキをかけてください。

ユニバーサルジョイントのメンテナンス方法

適切な工具を使用して図のように PTO シャフトと
ミッションのガードを取り外します

- >シャフトのボルトを取り外します
- >ボルトを清掃します
- >ロックタイト 242 を塗って下さい

- >適切なトルクで締めて下さい (**79Nm**)
- >ガードを取り付けて下さい

ストーンガードとカウンターナイフ

必要に応じて

ストーンガードとカウンターナイフのメンテナンス作業の注意事項

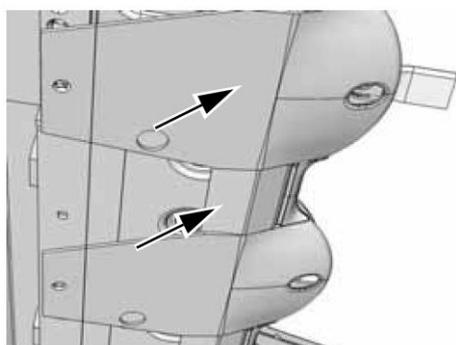
ストーンガードとカウンターナイフのメンテナンス作業を行う場合は、トラクターを停止して固定してください。これによって作業機が突然動き出さないようにします。トラクターとPTO シャフトが規定通りに接続されていない場合、大きな事故を引き起こし手足に重傷を負う危険性があります。



ストーンガードとカウンターナイフのメンテナンス作業

- ・トラクターのエンジンを切ってください。
- ・イグニッションキーを外してください。
- ・PTO シャフトを取り外してください。
- ・トラクターの油圧システムを停止してください。
- ・手動ブレーキをかけてください。

ストーンガードとカウンターナイフを交換するときは作業機は必ずトラクターに装着して作業を行なって下さい。



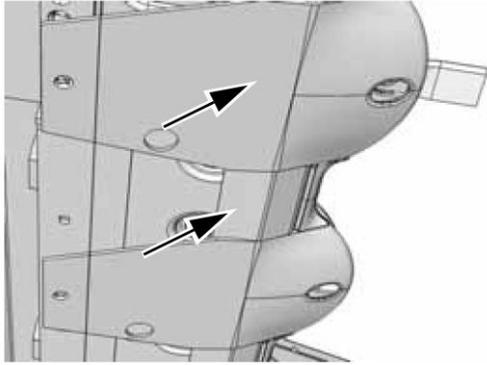
作業機を輸送位置まで上げます

安全のためにシリンダーにの安全ロックをかけます

注意！ 図のように安全に注意して必ずスタンド等を入れて下さい。

警告！必ずスタンド等を入れてから作業を行なって下さい

図のようにストーンガードとカウンターナイフを取り外します



ストーンガードとカウンターナイフを取り付けます



注意！ 傷や穴、摩耗などがあった場合はすぐに交換を行う必要があります。
スタンド等を取り外して下さい
シリンダーの安全ロックを外して下さい



作業機を下ろして下さい

注意！ 作業機の下に何も無いことを確認して下さい

ミッション・駆動関係

駆動関係のメンテナンス作業の注意事項

駆動関係のメンテナンス作業を行う場合は、トラクターを停止して固定してください。これによって作業機が突然動き出さないようにします。

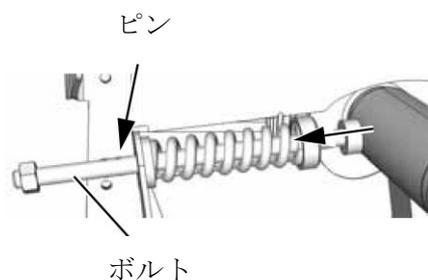
トラクターとPTO シャフトが規定通りに接続されていない場合、大きな事故を引き起こし手足に重傷を負う危険性があります。

駆動関係のメンテナンス作業

- ・トラクターのエンジンを切ってください。
- ・イグニッションキーを外してください。
- ・PTO シャフトを取り外してください。
- ・トラクターの油圧システムを停止してください。
- ・手動ブレーキをかけてください。

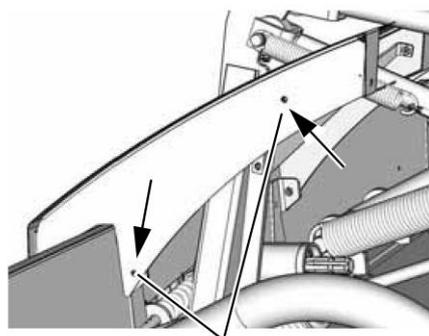
V ベルト

必要に応じて



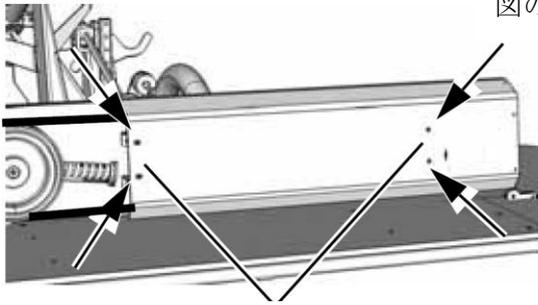
V ベルトの交換方法

図の位置のピンを取り外して下さい
適切な工具を使用して V ベルトが緩むまで回して下さい



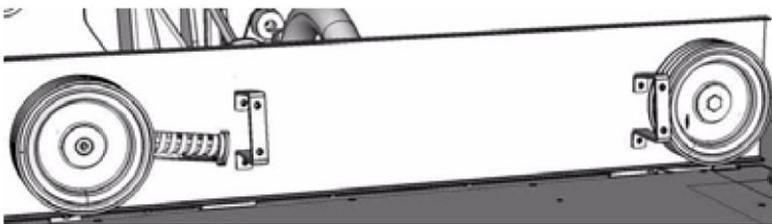
ガードの両側のボルトを外して下さい
ガードを外して下さい

図の位置のボルトとガードを取り外して下さい



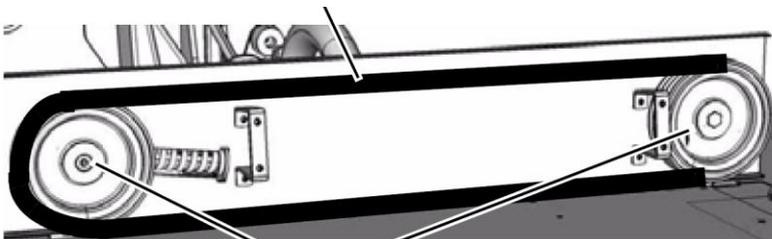
ボルト

Vベルトを取り外して下さい



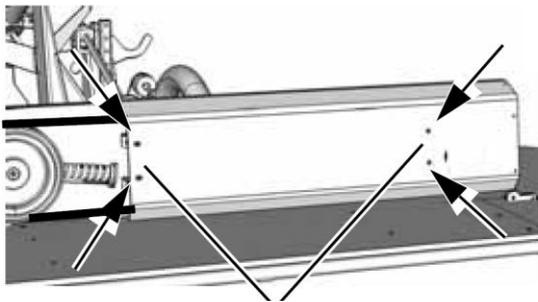
交換の場合は新しいVベルトを取り付けて下さい

Vベルト

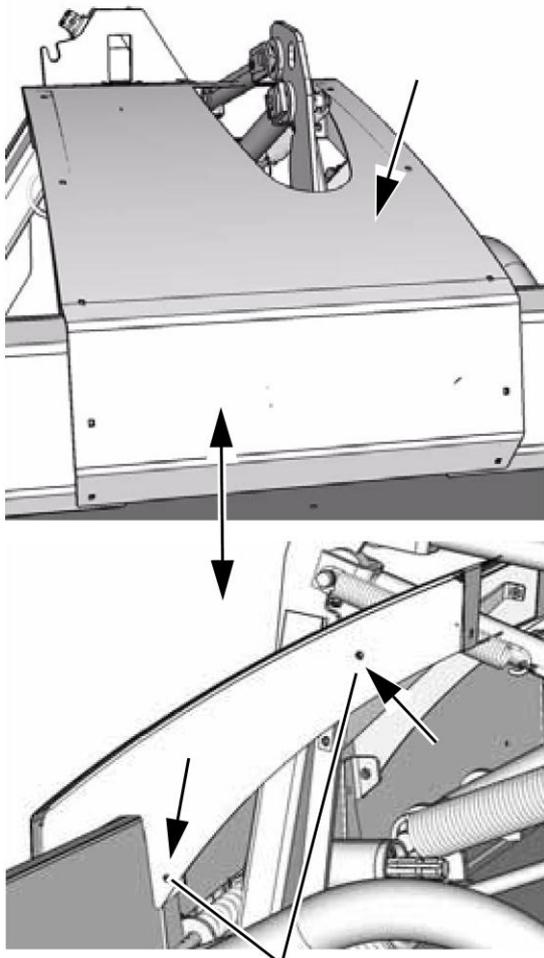


ボルト

ガードを取り付けて下さい

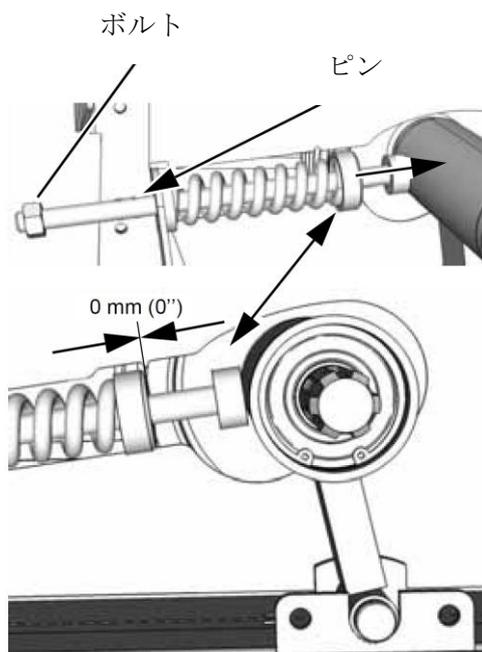


ボルト



ガードを取り付けます

ボルト



ボルト

ピン

0 mm (0")

図の調整に合わせてボルトを回して下さい

トラブルシューティング

油圧関係

問題	要因	対策
油圧	油圧が動かない	トラクターと接続されているかを確認してください
		トラクターの油圧が動作しているかを確認してください
		安全装置のバルブが閉まっているかを確認してください
	動作が遅い、弱い	トラクターの油量が十分であるかを確認してください
作業機を枕地旋回等で上げた時高さが低いすぎる	フロントリンケージが作業状態で低い位置にある	フロントリンケージを上げてください

カッターバー

問題	要因	対策
接地圧が大きい	接地圧が大きすぎる	サスペンションを調整してください
刈りムラができる	作業速度が遅すぎる	作業速度を上げてください
	トラクターのPTO回転が遅すぎる	トラクターの回転数、作業機のPTOを確認してください
	ナイフの欠落、破損、摩耗	ナイフを交換してください
	左右のバランスが水平でない	サスペンションを調整してください
刈り跡が縞模様になる	作業機の角度が適正でない	トップリンクを調節して角度を調節してください
	ハイスキッドが合わない	ハイスキッドを取り外してください 注意！圃場の石などに注意してください
	ディスクに草が絡まってしまう	回転速度を上げてください
	作業速度が遅すぎる	作業速度を上げてください
カッターバーが異常な熱を持っている	オイルの量が間違っている	適切なオイル量に調整してください
	適切なオイルの種類ではない	適切な種類のオイルを使用してください
カッターバーに正確に動力が伝わっていない	Vベルトの張りが適切でない	Vベルトを適切な張りにしてください
	Vベルトが異常な熱を持っている	Vベルトを交換してください

PTO シャフト

問題	要因	対策
トラクターと作業機の間 PTOシャフトの長さが 変えられない	PTOシャフトのスライド チューブが汚れていて 固着している	PTOシャフトを外しチューブを 清掃し注油をしてください

※圃場の状態によってはトラブル等もある場合があります



札幌営業所：北海道千歳市上長都 1121-2
TEL 0123-26-2241 FAX 0123-26-2230

帯広営業所：北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18-19
TEL 0155-62-6401 FAX 0155-62-6403

東北営業所：岩手県紫波郡矢巾町広宮沢 10-520-11
TEL 019-614-9520 FAX 019-614-9522

関東営業所：福島県西白河郡泉崎村泉崎第一工業団地
TEL 0248-53-4121 FAX 0248-53-4123

九州営業所：熊本県上益城郡益城町広崎 1586-8
TEL 096-237-7766 FAX 096-237-7767